
市役所新庁舎整備に向けた検討経過・設計概要

資料内容

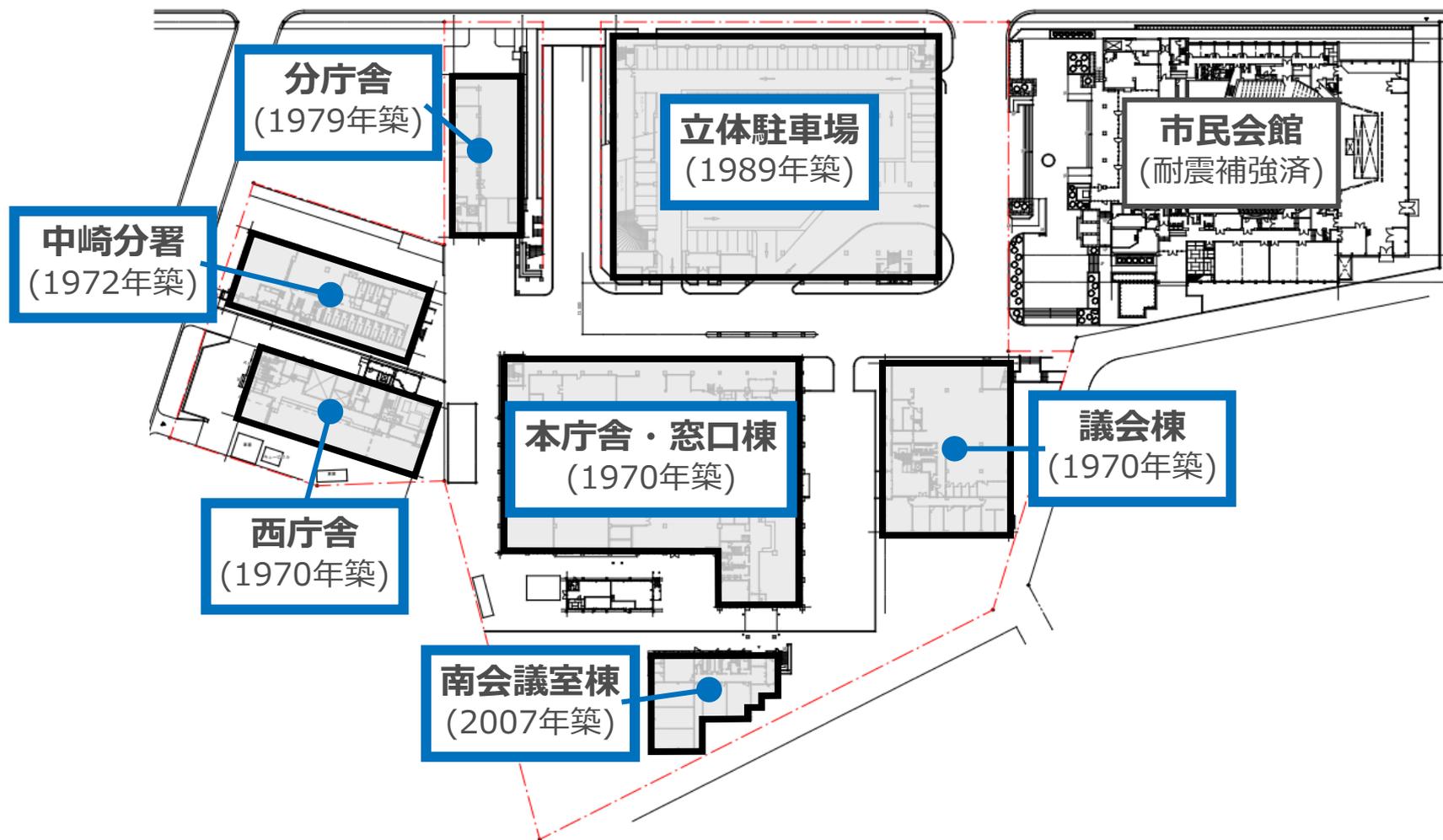
- 1 現庁舎の状況
- 2 検討経過
- 3 設計コンセプト・設計方針
- 4 配置計画・計画概要
- 5 平面計画
- 6 ユニバーサルデザイン計画
- 7 防災・構造計画
- 8 環境・設備計画
- 9 第1回 有識者会議（まとめ）

- 1 現庁舎の状況**
- 2 検討経過
- 3 設計コンセプト・設計方針
- 4 配置計画・計画概要
- 5 平面計画
- 6 ユニバーサルデザイン計画
- 7 防災・構造計画
- 8 環境・設備計画
- 9 第1回 有識者会議（まとめ）

① 現庁舎の状況

■ 現庁舎の状況

- 敷地面積：約24,000㎡
- 延床面積：約22,600㎡
- 南会議室棟以外は、**旧耐震基準(震度5強程度を想定)**で建設された建物



■ 現庁舎の課題

現庁舎の課題

- ① 老朽化の進行 と 維持管理コストの増大
- ② 窓口等の狭隘化
- ③ バリアフリー・ユニバーサルデザインへの対応不足
- ④ 旧耐震基準で建設された建物の耐震性
- ⑤ 津波等の浸水による影響



市民サービス・災害対応の拠点としての役割を求められる中、耐震補強(大規模改修)では、解決できない課題があることから、建て替えを決定

- 1 現庁舎の状況
- 2 検討経過**
- 3 設計コンセプト・設計方針
- 4 配置計画・計画概要
- 5 平面計画
- 6 ユニバーサルデザイン計画
- 7 防災・構造計画
- 8 環境・設備計画
- 9 第1回 有識者会議（まとめ）

■ 整備場所の決定

● 市役所の位置

※地方自治法第4条第1項



条例で定める



● 市役所の位置の変更



条例の改正が必要

※条例改正は、通常、市議会の過半数の賛成で可決されるが、

法律が特に定めるものについては、**3分の2以上の「特別多数決」**が必要

● 市役所の位置の変更



市議会議員の

※地方自治法第4条第3項

3分の2以上の賛成が必要



市議会（特別委員会）が中心となって、新庁舎の整備場所を検討

■ 整備場所の決定

2017年3月

基本構想

- 現在地
- 明石駅周辺
- 西明石駅周辺
- 大久保駅周辺

2017年12月

議会(委員会)報告

- 現在地
- 明石駅周辺
- J T 跡地(大久保駅)
- 明石駅周辺と
J T 跡地に分散配置
- ~~上ヶ池公園~~
卸売市場(西明石駅)

2019年9月

議会(委員会)報告

- 現在地
- J T 跡地(大久保駅)
- ~~明石駅周辺~~
~~(再開発事業)~~
- ~~明石駅周辺と~~
~~J T 跡地に分散配置~~

2019年10月

議会決議

- 現在地
 - ~~J T 跡地(大久保駅)~~
- 議会の決議（市役所新庁舎整備候補地に関する決議）※を受け、現在地での建て替えを決定

※ 「市役所新庁舎整備候補地に関する決議」の内容

- 防災面から早急に建て替えが必要
- 財政負担を軽減する必要がある中、国の財政支援メニュー「**市町村役場機能緊急保全事業**」の適用期限が迫っている。



議会の決議（全会一致の賛成）を受け、現在地で建て替える方針を決定

■ 国からの財政支援

市町村役場機能緊急保全事業

- 起債対象経費の**22.5%が交付税措置**
 - ➔ 基本設計時点の概算工事費（139億円）の場合、**約31億円**
※工事費が増加した場合は、交付税措置額も増加（上限なし）
- 適用条件は、**2020年度までの実施設計着手（契約締結&予算措置）**



予算の繰越し期限の関係から、今年度中の実施設計完了が必要

交付税措置対象 起債充当率75%	交付税措置 対象外 起債充当率 15%	一 般 財 源 10%	起 債 対象外 経 費 10%
交付税措置30% (起債対象経費の22.5%)			

■ 新庁舎完成までの取組

基本構想
(2017.3)

新庁舎整備に向けた基本的な考え方を整理
※これからの市役所に求められる機能、規模、位置など

基本計画
(2020.3)

設計に向けた基本的な条件の決定
※基本理念や導入機能、建設場所、規模、事業費見込み、スケジュールなど

基本設計
(2023.3)

基本計画に基づき、完成時の姿を明確化
※建築物の配置計画、平面と空間の構成、機能、内外のデザインなど

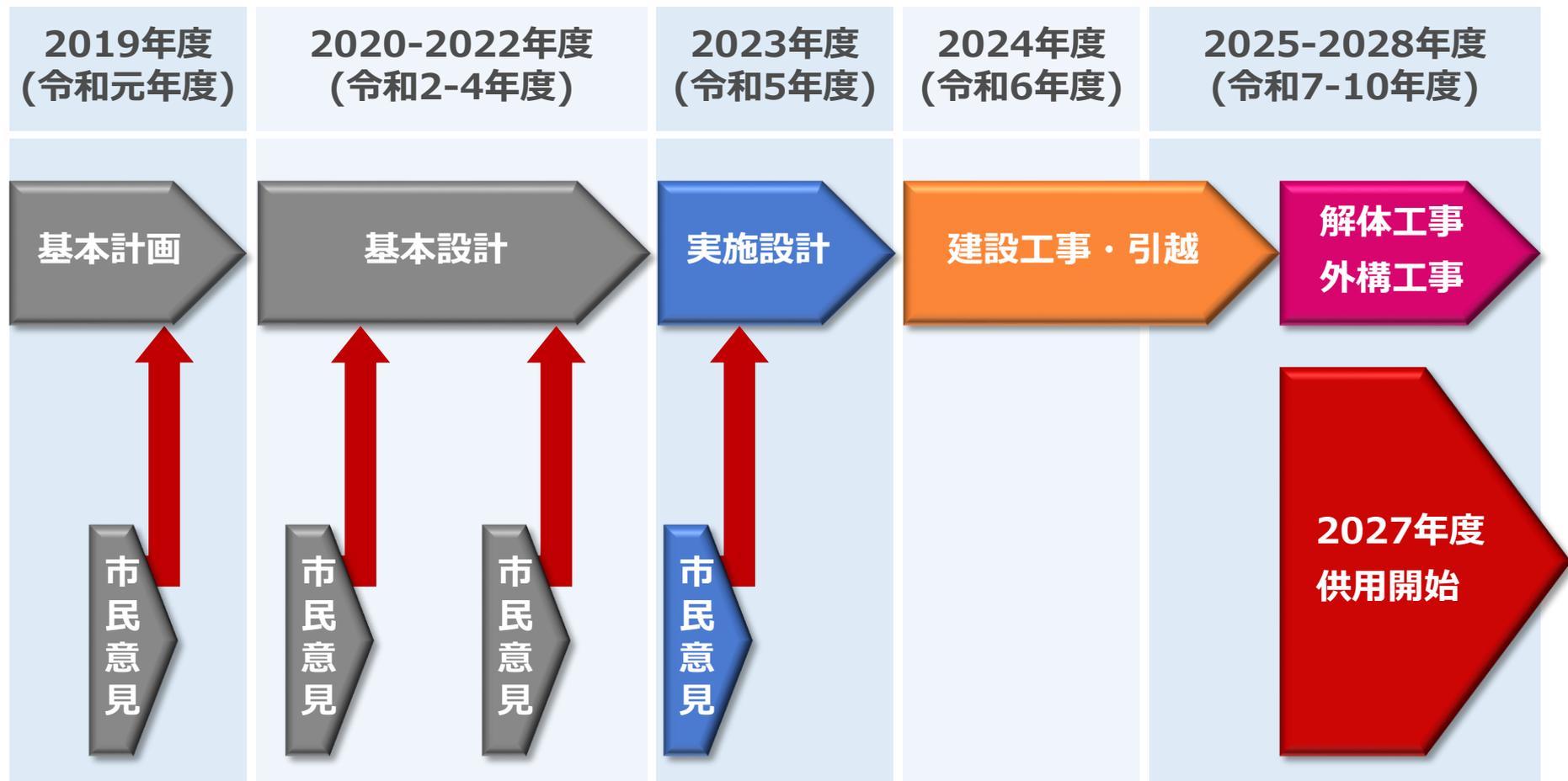
実施設計

基本設計に基づき、建設工事に向けた図面の作成や各種申請の届出
※建築物の細部の形状、仕様、寸法などの詳細設計

建設工事

実施設計に基づき、工事を実施

■ 事業スケジュール（基本計画以降）



■ 市民参画の実施及び意見反映状況

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
基本計画		基本設計	
<ul style="list-style-type: none">● パブリックコメント● 市民説明会	<ul style="list-style-type: none">● アンケート調査 (高齢者、子育て世代)● パブリックコメント	<ul style="list-style-type: none">● アンケート調査 (広報あかし)	<ul style="list-style-type: none">● パブリックコメント● 市民説明会● 障害当事者との 他市新庁舎への 合同視察



現庁舎の跡地は、売却せずに市が保有したまま有効活用すべき

 **市が保有したまま活用**する方針に変更



市役所に行ってみたくなる仕掛けを検討してほしい

 **会議室や展望テラス（6階設置予定）の夜間、休日開放**を検討
議場を3階から6階に変更し、**市民開放**を検討



プライバシーに配慮した相談スペースやキッズスペース・授乳室がほしい

 いずれも**導入予定**

■ 市民参画の実施及び意見反映状況



立体駐車場(4層5段)は、新庁舎から海への景観を遮ってしまう



平面駐車場で暫定整備し、隣接する明石港東外港地区(旧砂利揚場)との一体的な土地利用の中で、改めて検討



明石駅からの徒歩経路等を考えると、**メインエントランスは西側**がよい



レイアウトを東西に反転し、**西側メインに変更**



太陽光発電をできるだけ増やすべきだと思います



太陽光発電設備を増設 (来庁者駐車場1の屋根にも設置)



障害当事者の声を幅広く聞いて、設計に生かしてほしい



あすく (明石市障害当事者等団体連絡協議会) **との意見交換**
高砂市新庁舎への**合同視察**、【予定】**導入設備体験会**

- 1 現庁舎の状況
- 2 検討経過
- 3 設計コンセプト・設計方針**
- 4 配置計画・計画概要
- 5 平面計画
- 6 ユニバーサルデザイン計画
- 7 防災・構造計画
- 8 環境・設備計画
- 9 第1回 有識者会議（まとめ）

基本理念 『すべての人にやさしいスリムでスマートな庁舎』

整備方針 1

災害時の対応力
強化

整備方針 2

バリアフリー・
ユニバーサル
デザインの導入

整備方針 3

効率的な行政
サービスの提供

整備方針 4

持続可能な
まちづくりに
貢献する庁舎

整備方針 5

明石らしく、
訪れたくなる
庁舎



※基本設計時点の
外観イメージ

国道 28 号

基本理念『すべての人にやさしい**スリム**でスマートな庁舎』

■ 新庁舎の規模

現庁舎延床面積：約22,600㎡

建 物	延床面積
本庁舎(窓口棟・事務棟等)	12,123㎡
議会棟	3,593㎡
西庁舎	2,017㎡
分庁舎	3,473㎡
中崎分署棟	416㎡
南会議室棟	992㎡
合 計	22,614㎡

【参考】 庁舎規模の試算例

試算方法	庁舎規模
他市事例に基づく試算※1	32,000㎡
総務省「地方債同意等基準」に基づく試算※2	34,500㎡

※1 明石市と人口が同規模の6市（岐阜市・水戸市・呉市・日立市・周南市・春日部市）の庁舎規模（検討段階含む）を基に試算

※2 職員数1,250名で試算

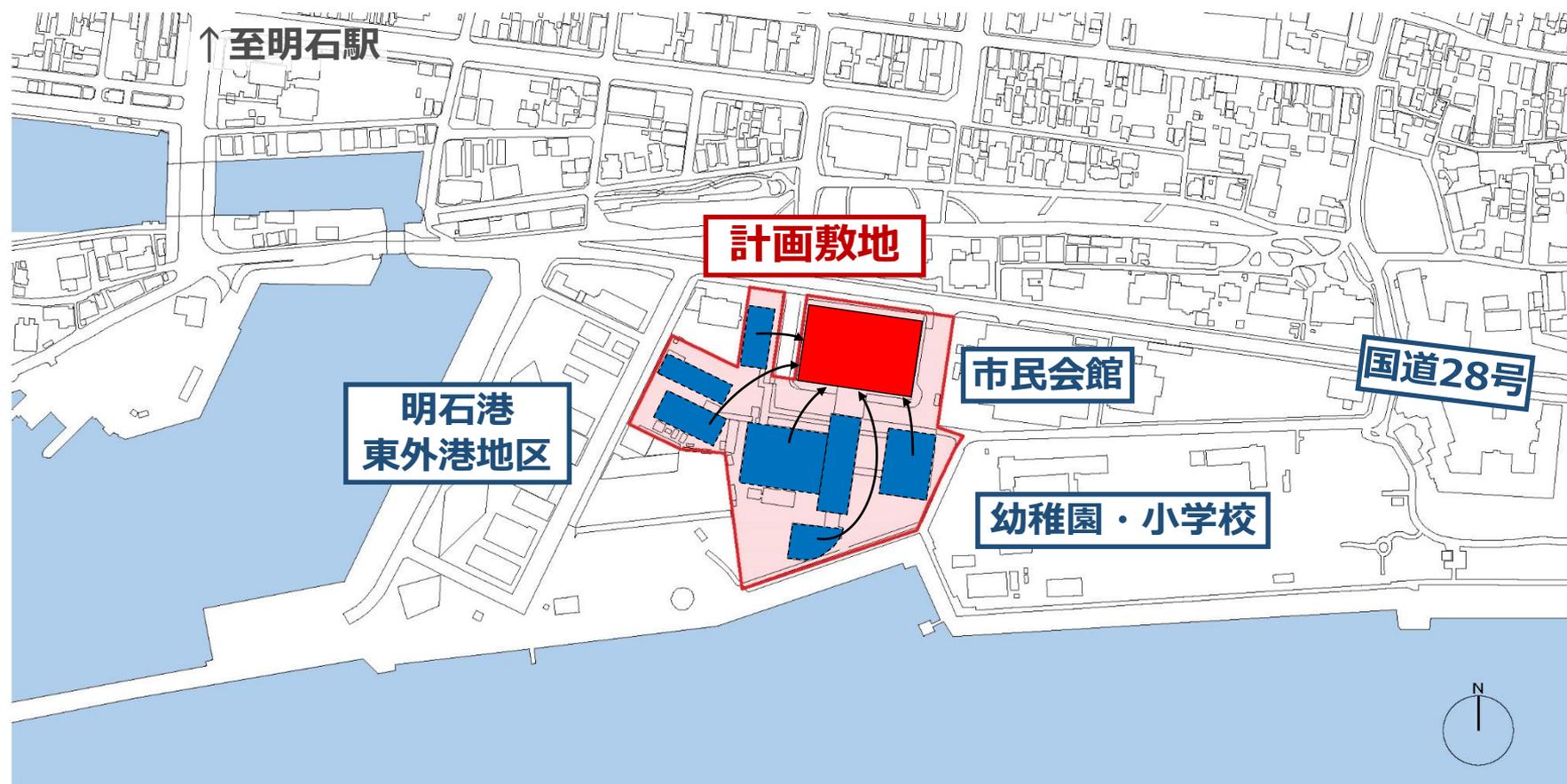


市民負担をできる限り軽減するため、庁舎のコンパクト化に取り組み、延床面積を20,545㎡まで圧縮

- ・ 分散している庁舎を一棟に集約
- ・ 書庫面積の削減（紙文書の廃棄・電子化、電子決裁システムの導入） など

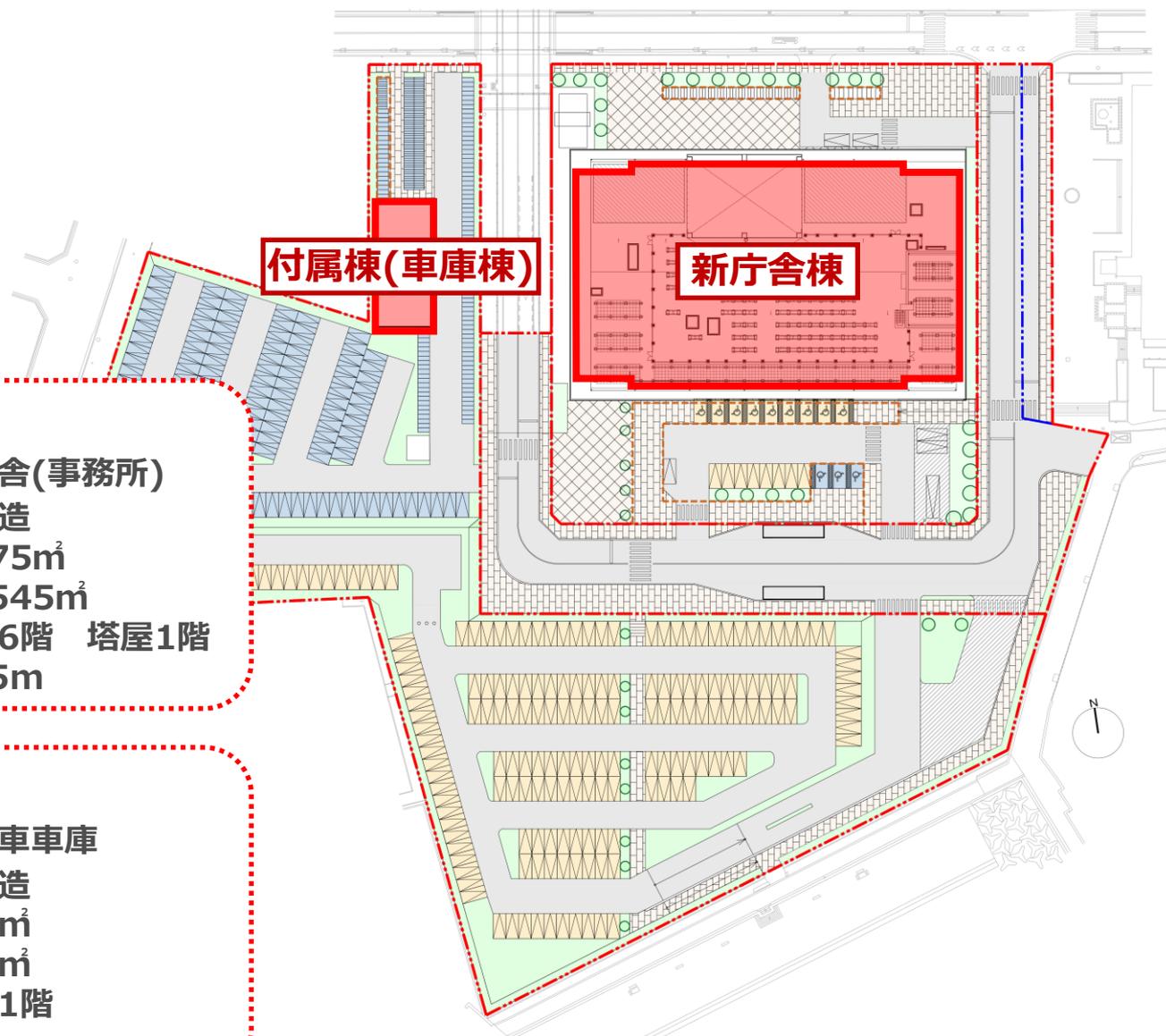
- 1 現庁舎の状況
- 2 検討経過
- 3 設計コンセプト・設計方針
- 4 配置計画・計画概要**
- 5 平面計画
- 6 ユニバーサルデザイン計画
- 7 防災・構造計画
- 8 環境・設備計画
- 9 第1回 有識者会議（まとめ）

敷地概要



所在地 : 明石市中崎1丁目5番1号
敷地面積 : 24,097㎡
用途地域 : 近隣商業地域

■ 配置計画



■ 新庁舎棟

主要用途 : 市庁舎(事務所)
構造 : 鉄骨造
建築面積 : 3,875㎡
延床面積 : 20,545㎡
階数 : 地上6階 塔屋1階
最高高さ : 32.5m

■ 付属棟(車庫棟)

主要用途 : 自動車車庫
構造 : 鉄骨造
建築面積 : 324㎡
延床面積 : 324㎡
階数 : 地上1階
最高高さ : 4.8m

■ 駐車場・駐輪場計画

■ 公用・職員用駐車場概要

公用車駐車場 : 121台

車いす利用職員駐車場 : 3台

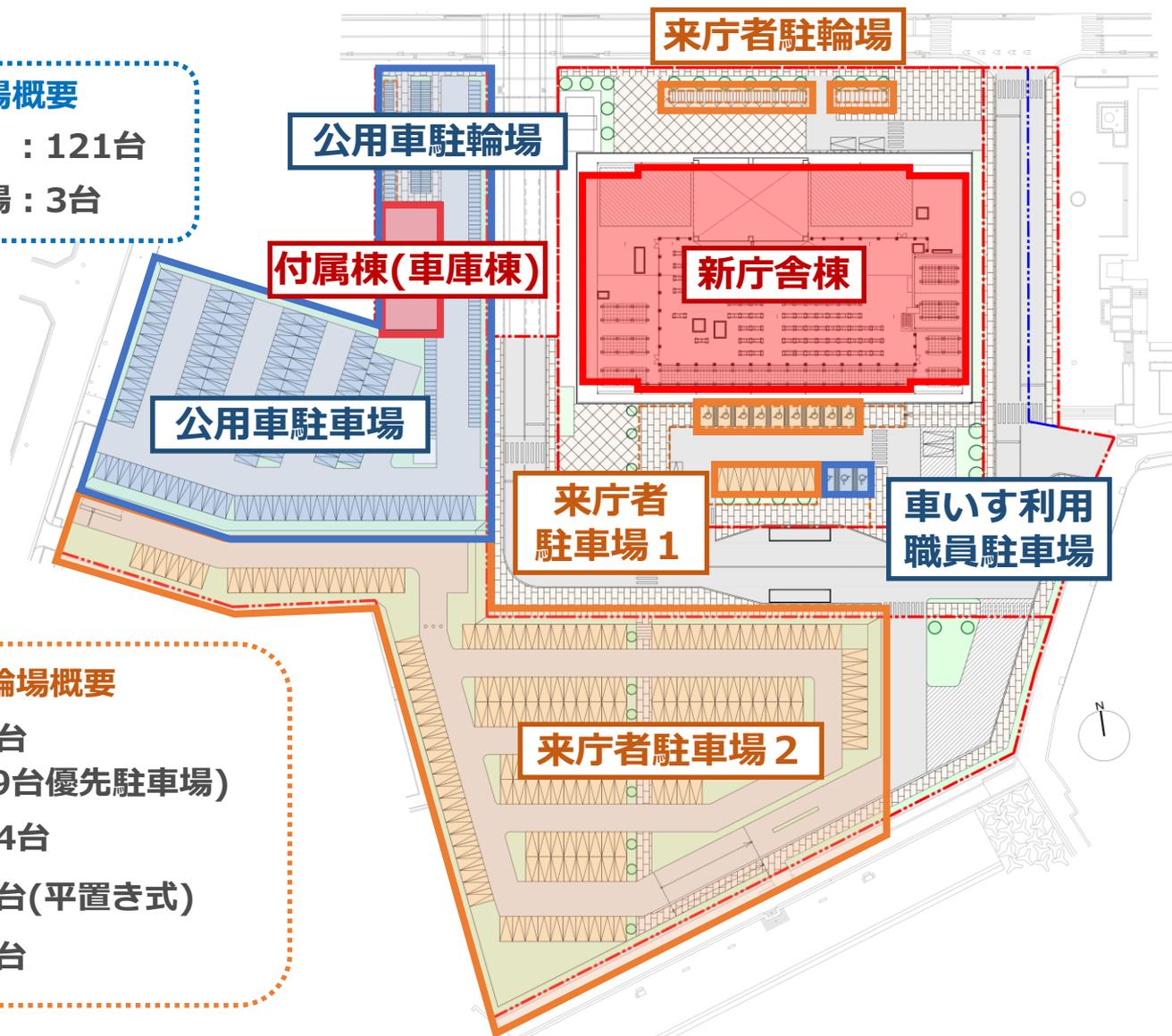
■ 来庁者駐車場・駐輪場概要

来庁者駐車場 1 : 17台
(内9台優先駐車場)

来庁者駐車場 2 : 184台

自転車駐輪場 : 45台(平置き式)

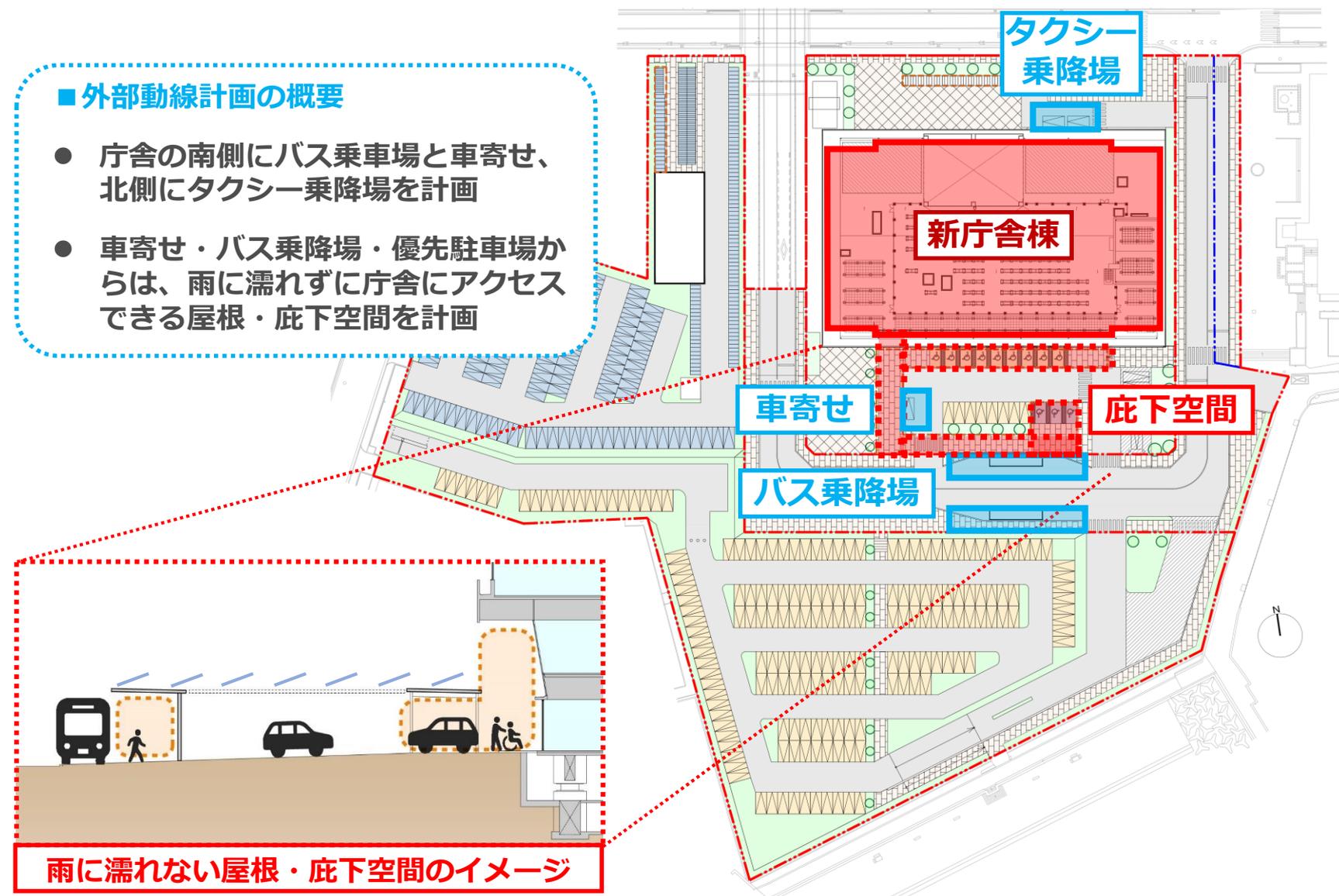
バイク駐輪場 : 11台



■外部動線計画

■外部動線計画の概要

- 庁舎の南側にバス乗降場と車寄せ、北側にタクシー乗降場を計画
- 車寄せ・バス乗降場・優先駐車場からは、雨に濡れずに庁舎にアクセスできる屋根・底下空間を計画



- ① 現庁舎の状況
- ② 検討経過
- ③ 設計コンセプト・設計方針
- ④ 配置計画・計画概要
- ⑤ 平面計画**
- ⑥ ユニバーサルデザイン計画
- ⑦ 防災・構造計画
- ⑧ 環境・設備計画
- ⑨ 第1回 有識者会議（まとめ）

■フロア構成

市民エリア・議場フロア

6F

議会フロア

5F

執務フロア

4F

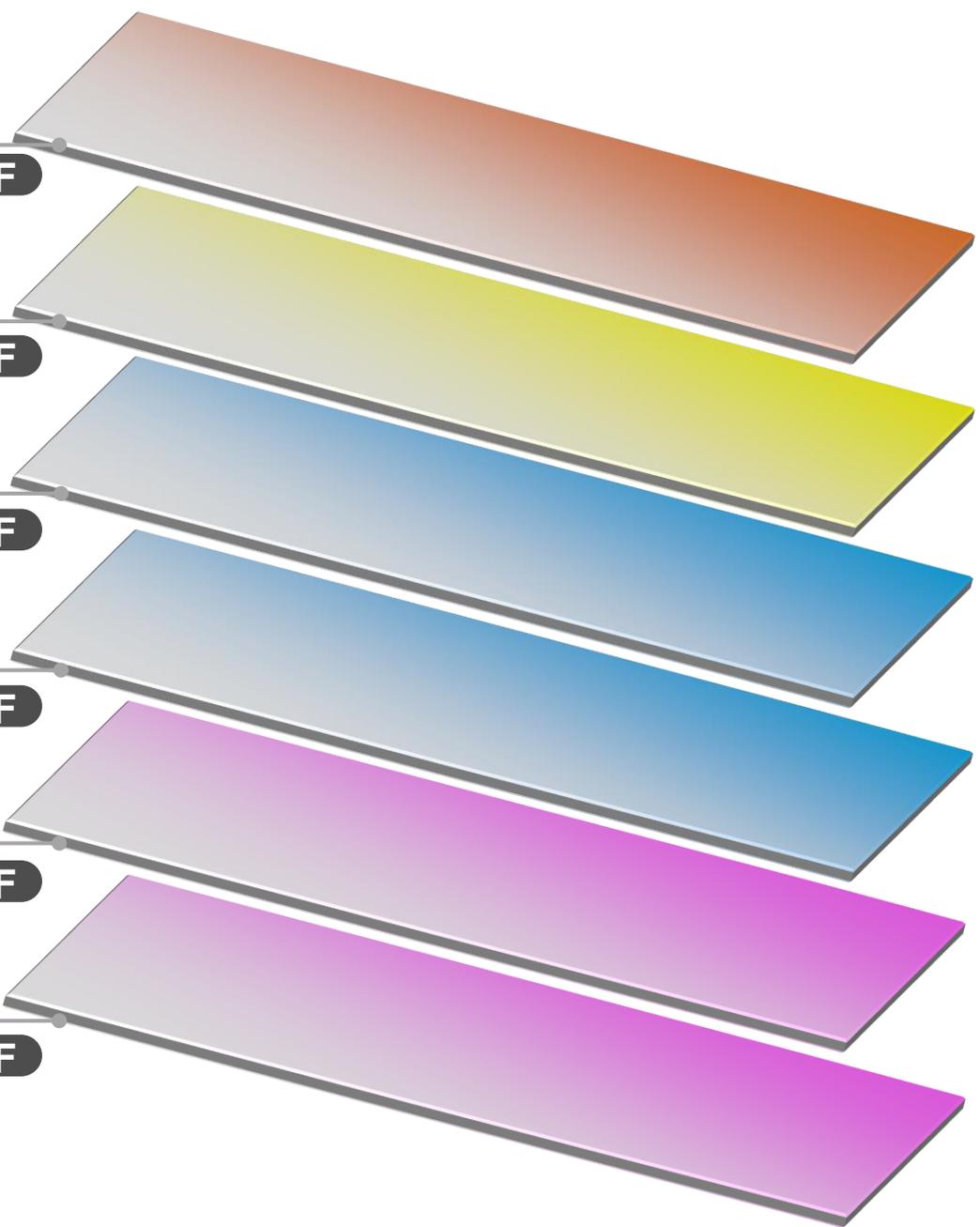
執務（災害対策）フロア

3F

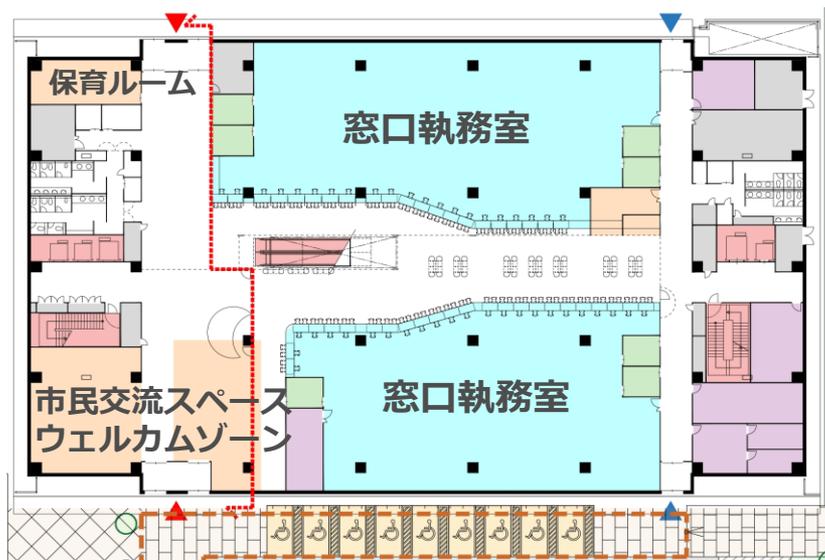
窓口フロア

2F

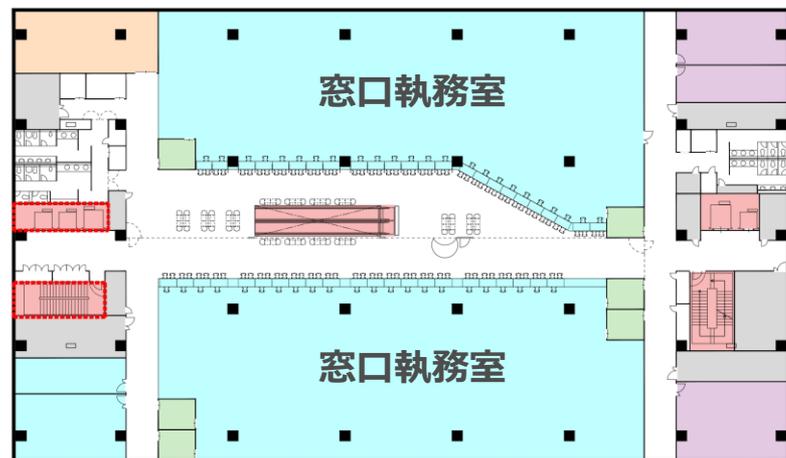
1F



■ 1階



■ 2階



 執務室	 市民スペース	 階段・エレベーター・エスカレーター
 相談室・会議室	 議会	 倉庫・書庫・機械室
 市長室・特別職	 諸室	 セキュリティライン

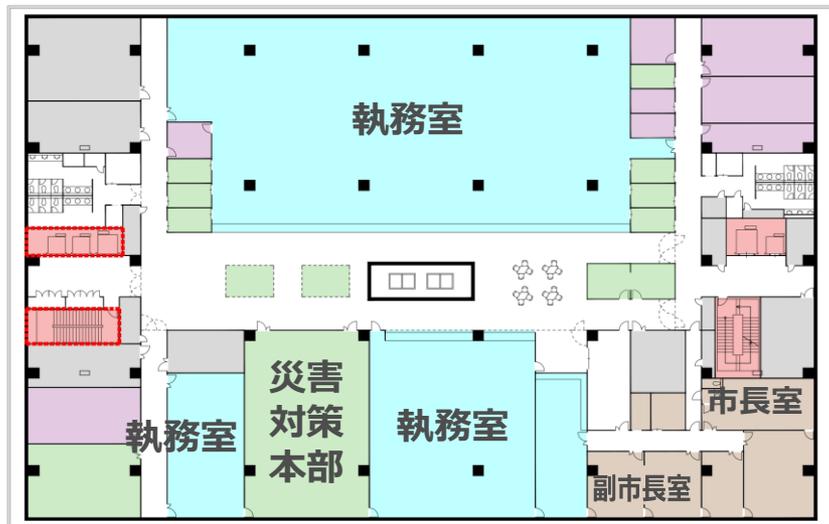
■ 1・2階（窓口フロア）の特徴

- ① 窓口機能の集約配置
- ② 市民交流スペース・ウェルカムゾーンや保育ルーム、キッズスペースなどを配置

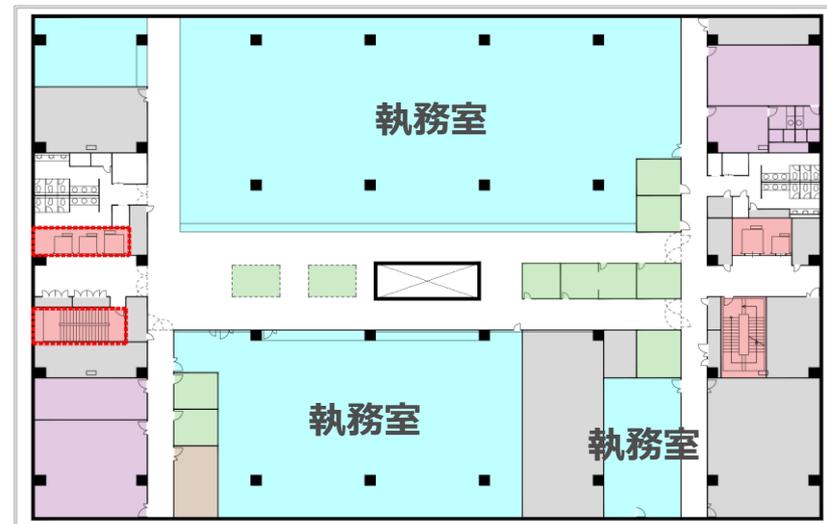
■ 窓口機能の考え方

- ① 番号案内システムの設置
- ② 待ち状況の確認やメール等によるお知らせ機能の検討
- ③ オンライン申請の拡充の検討
- ④ 「移動しなくてよい窓口」 や「書かなくてよい窓口」 を検討

■ 3階



■ 4階



- | | | |
|--|--|--|
| ■ 執務室 | ■ 市民スペース | ■ 階段・エレベーター・エスカレーター |
| ■ 相談室・会議室 | ■ 議会 | ■ 倉庫・書庫・機械室 |
| ■ 市長室・特別職 | ■ 諸室 | - - - セキュリティライン |

■ 3・4階（執務フロア）の特徴

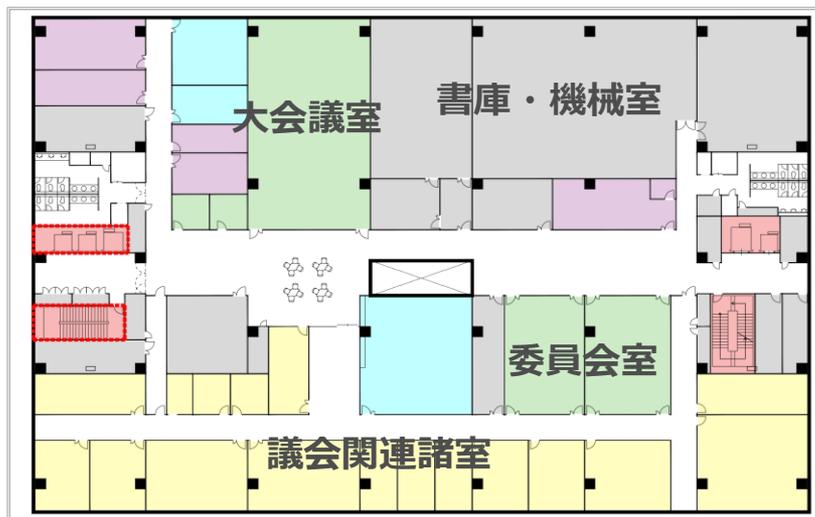
≪執務(一般)フロア≫

- ① 執務エリアは仕切りの無いオープンフロア
 ➔ 組織改編やレイアウト変更に対応できる計画

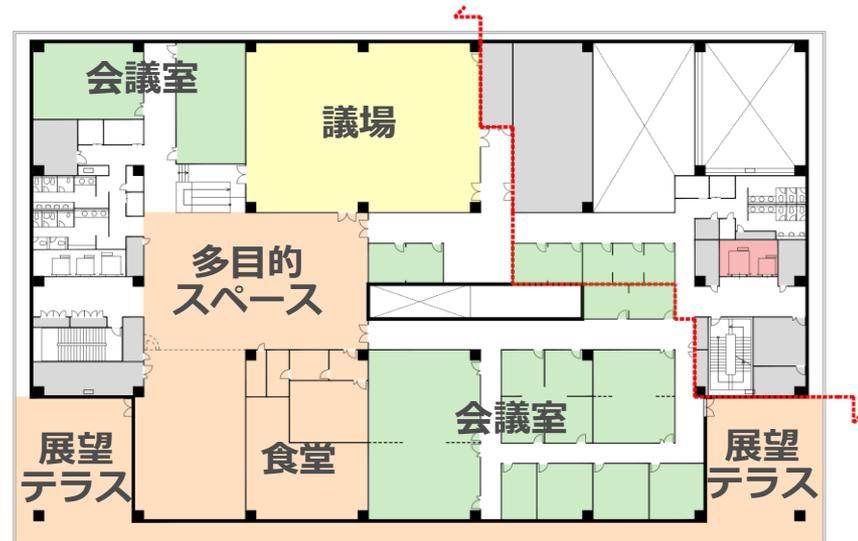
≪執務(災害対策)フロア≫

- ① 市長室と災害対策本部を近接した配置 ➔ 災害時に迅速かつ的確な指揮命令が可能
 ② 災害対策本部は、平時は会議室としても利用

■ 5階



■ 6階



■ 5階（議会フロア）の特徴

- ① 各会派控室は可動間仕切りを採用 ➡ 人数の変動に柔軟に対応

■ 6階（市民エリア・議場）の特徴

《市民エリア》

- ① 南側に展望テラスと食堂を配置 ➡ 明石海峡大橋や淡路島の眺望
- ② 多目的スペースを配置 ➡ 飲食、市民活動、臨時窓口等
- ③ 会議室は、夜間や休日に市民が利用可能

《議場》

- ① 議場は、議会閉会時に市民が利用可能

- 1 現庁舎の状況
- 2 検討経過
- 3 設計コンセプト・設計方針
- 4 配置計画・計画概要
- 5 平面計画
- 6 ユニバーサルデザイン計画**
- 7 防災・構造計画
- 8 環境・設備計画
- 9 第1回 有識者会議（まとめ）

■ 窓口・ロビー空間

わかりやすく利用しやすい窓口・ロビー空間

※基本設計時点のイメージ

色分け等による
わかりやすい
窓口サイン

デジタルサイネージ等による
窓口案内

ゆったりと
くつろげる
待合スペース

プライバシーと
多様な市民相談に
配慮した相談室

親子で過ごせる
キッズスペース

車椅子対応の
窓口カウンター

1・2階を繋ぐ
エスカレーター

視認性の良い（メイン入口から
わかりやすく、窓口を見渡せる）
総合案内

■ その他の取組

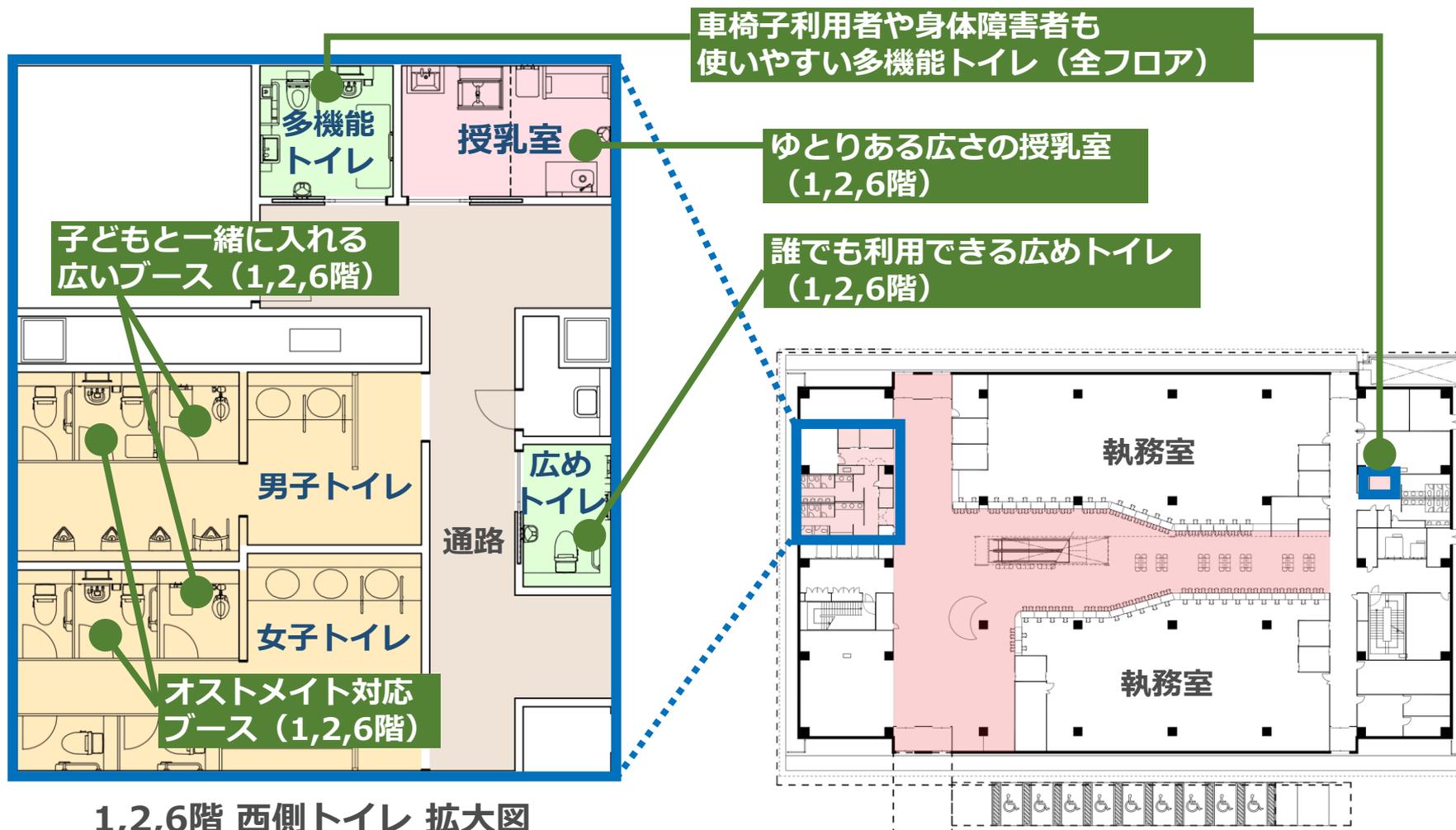
ベビーカー、車いす利用者等の優先エレベーター

点字ブロック、音声案内設備

子育て関連窓口に近い保育ルーム

■ トイレ計画

様々な人に対応したトイレ計画



- 1 現庁舎の状況
- 2 検討経過
- 3 設計コンセプト・設計方針
- 4 配置計画・計画概要
- 5 平面計画
- 6 ユニバーサルデザイン計画
- 7 防災・構造計画**
- 8 環境・設備計画
- 9 第1回 有識者会議（まとめ）

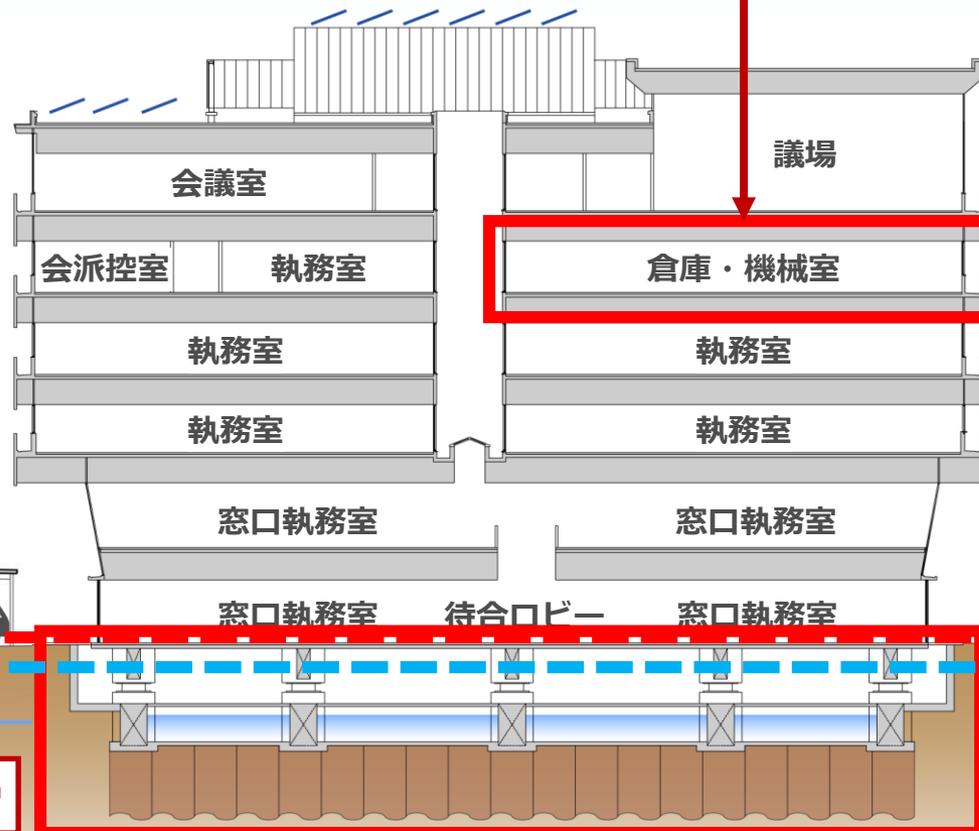
災害に強い庁舎（地震・水害への対応）



最高水準の耐震性能を確保

大地震後に構造体を補修せずに
継続使用できることを目標

**非常用発電機室・電気室・
サーバー室の上階設置**

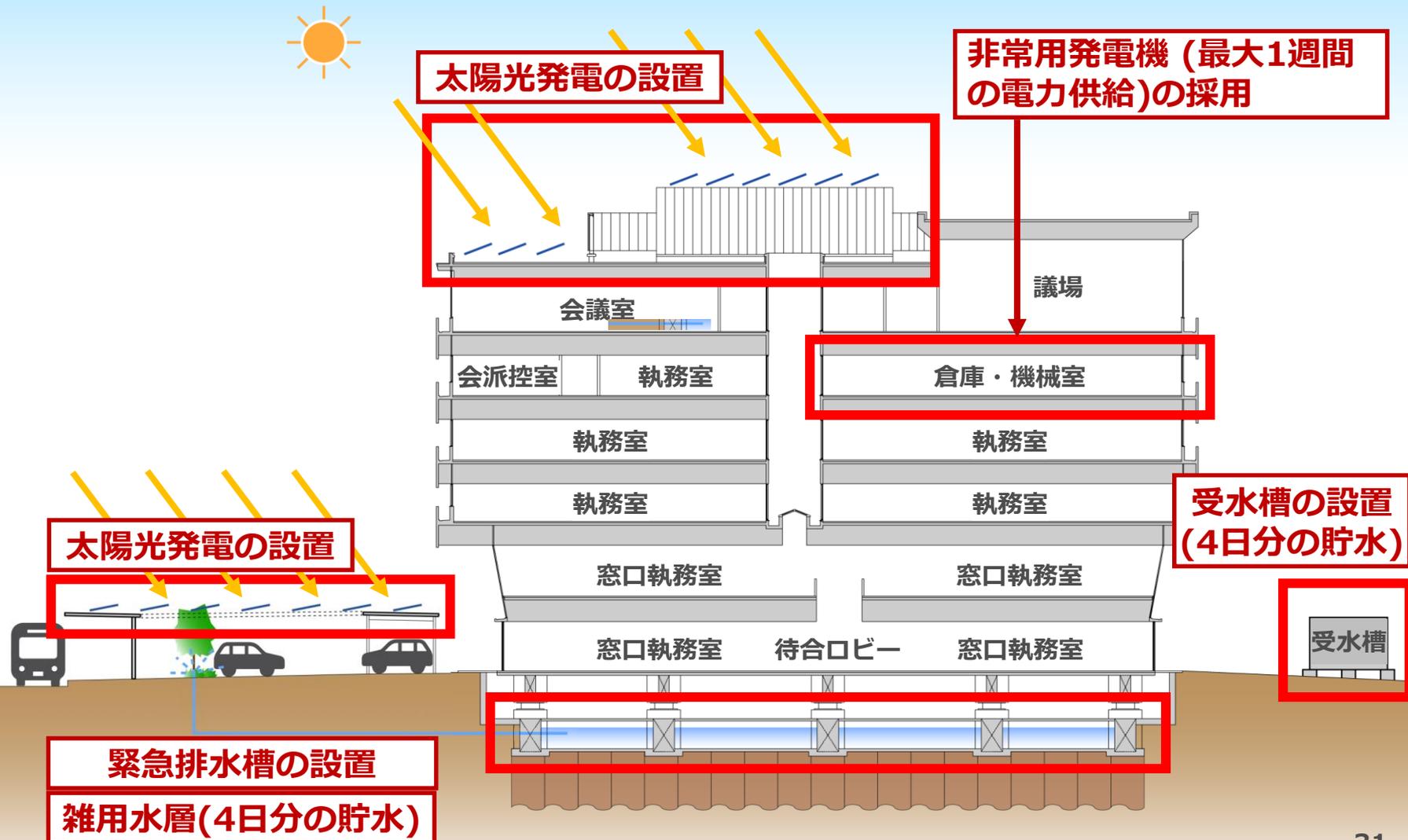


**1階床レベル
TP+4.4m**

地盤改良+液状化対策+免震層

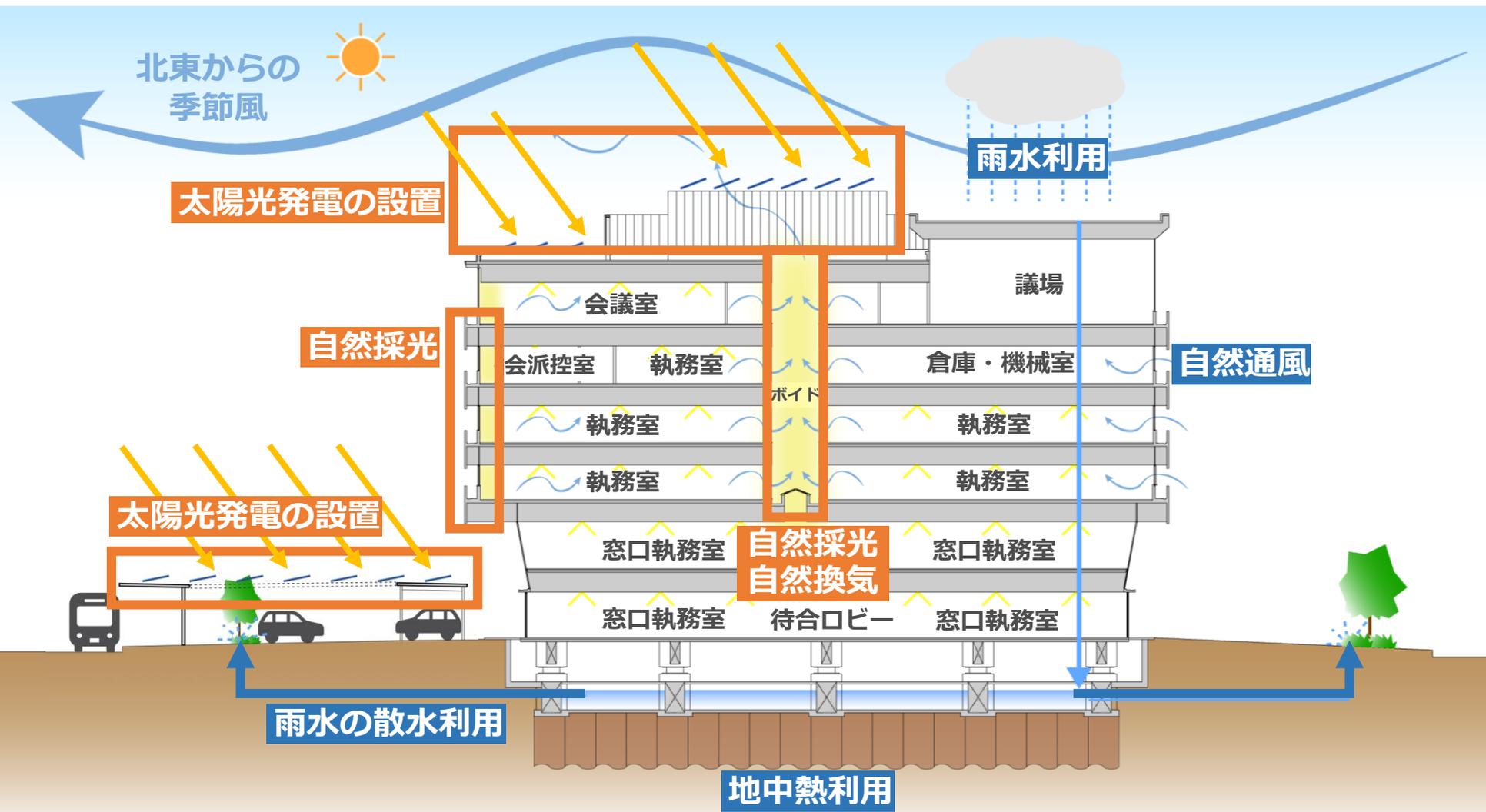
**外構レベル
TP+3.5m**

インフラのバックアップ対策

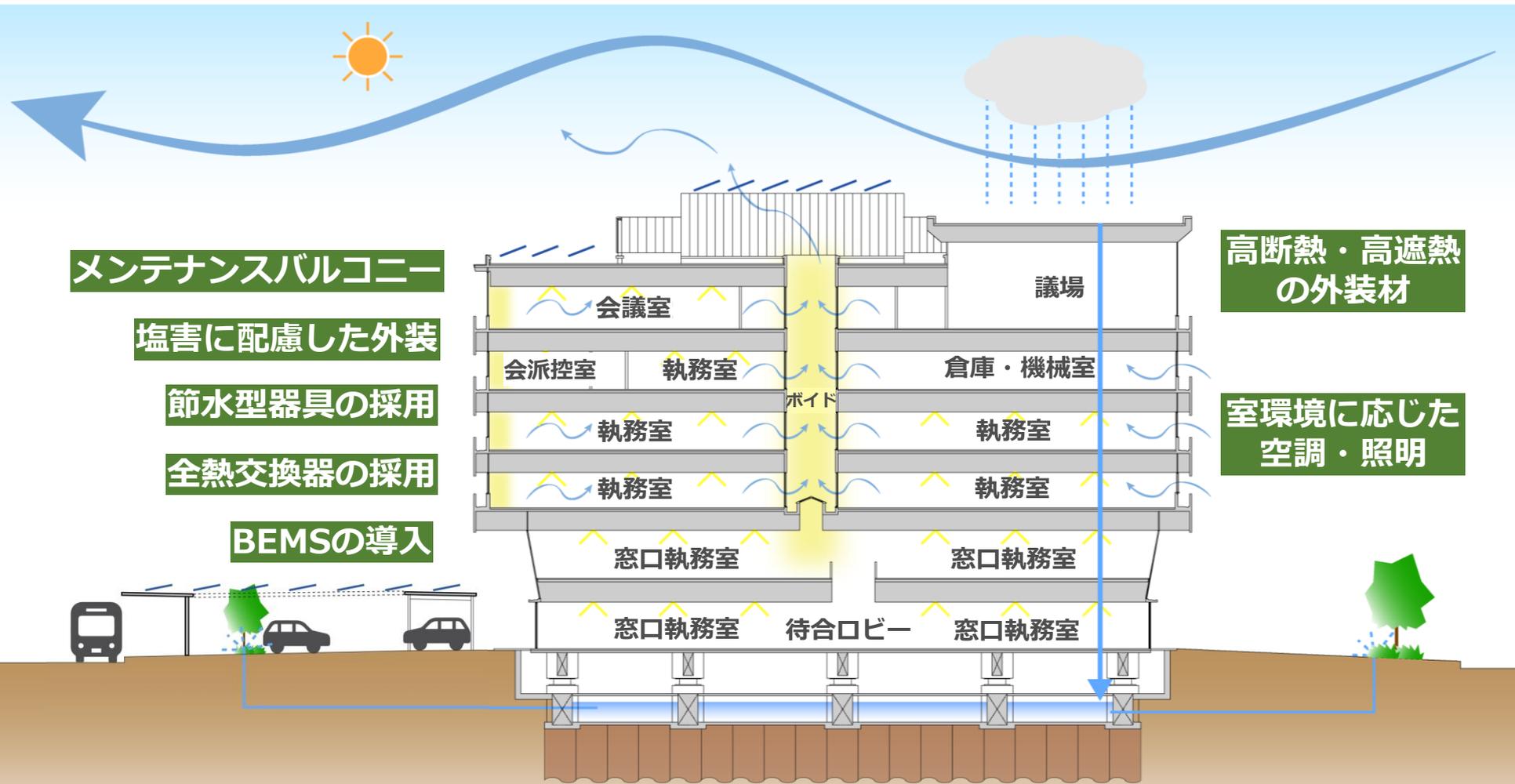


- 1 現庁舎の状況
- 2 検討経過
- 3 設計コンセプト・設計方針
- 4 配置計画・計画概要
- 5 平面計画
- 6 ユニバーサルデザイン計画
- 7 防災・構造計画
- 8 環境・設備計画**
- 9 第1回 有識者会議（まとめ）

地域に根差した環境配慮型庁舎（自然エネルギーの活用）



地域に根差した環境配慮型庁舎（省エネルギー技術の導入）



メンテナンスバルコニー

塩害に配慮した外装

節水型器具の採用

全熱交換器の採用

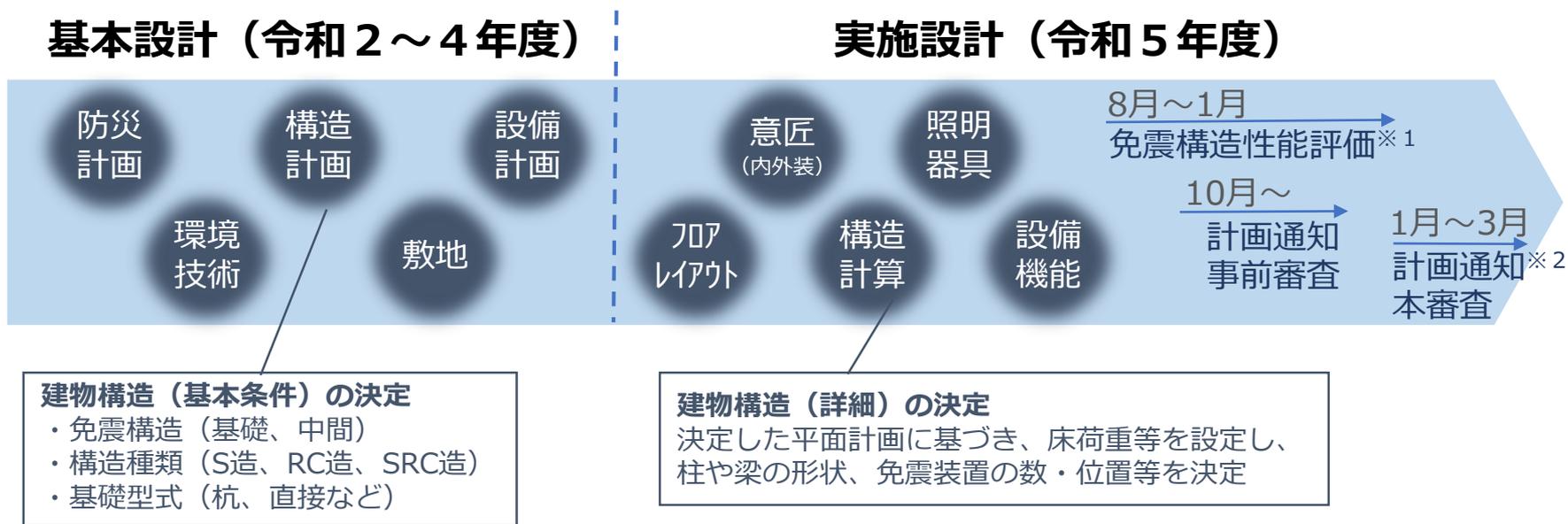
BEMSの導入

高断熱・高遮熱の外装材

室環境に応じた空調・照明

- ① 現庁舎の状況
- ② 検討経過
- ③ 設計コンセプト・設計方針
- ④ 配置計画・計画概要
- ⑤ 平面計画
- ⑥ ユニバーサルデザイン計画
- ⑦ 防災・構造計画
- ⑧ 環境・設備計画
- ⑨ 第1回 有識者会議（まとめ）**

■ 基本設計・実施設計における検討項目



※1 【免震構造性能評価】

国土交通大臣指定の評価機関が、建築物や建築材料の性能評価を行う。
（地盤の液状化が考えられる場合は、性能評価が必要）

※2 【計画通知】

建築図面が建築基準法に適合しているかを建築主事が確認する。
計画通知を受けた図面通りに工事を行い、完了検査を受けた後に供用を開始できる。



**実施設計の検討項目（レイアウト・内装・設備機能等）について、
有識者・市民の意見を聴取し、設計に反映**

■ 検討のポイント

（1）明石らしさ

- ・ 明石らしさをどう表現するか

（どのようなデザインが、どこに、どういう風にあるのが明石らしいのか）

（2）エリア（新庁舎・東外港地区）全体の土地利用

- ・ 新庁舎の整備場所が決定した中で、駐車場や市民会館、海、隣接する県の土地などをあわせて、**エリア全体の利用についてどう考えるか**

（3）ユニバーサルデザイン

- ・ 建物に加えて、**設備、利用(運用)方法、個別の動線**など、細部まで検討が必要

（4）防災（災害対応）

- ・ 南海トラフ地震や1,000年に1度クラスの大雨を想定した設計内容だが、**想定外の場合にどうするかという視点**も必要

（5）環境への配慮（自然エネルギーの活用）

- ・ 国の目標（2050年カーボンニュートラル）を踏まえ、新庁舎も**先進的な取り組み**が求められているのではないか

ご清聴ありがとうございました



新庁舎整備に関するワークショップ

～ みんなが利用したくなる新庁舎を考えよう ～

2023年7月15日（土）14：00～

テーマ

**明石らしく、すべての人にやさしい新庁舎に
必要なものとは**

より良い話し合いの場にするための3つのお願い

1. **みんなで話をしよう**
2. **色々な人の意見を聞こう**
3. **明石のこれからにつながる話をしよう**

意見交換

明石らしさの表現	ユニバーサルデザイン	市民利用エリア (ウェルカムゾーンや多目的スペース等)
～明石らしく、すべての人にやさしい新庁舎に必要なものとは～		
その他、全体に関する事など		
防災・災害時の対応	環境・エネルギー	エリア全体の土地利用

まずは、お互いに自己紹介

住んでいるところ

お名前

普段の活動・団体など

新庁舎への思いひと言

意見交換

明石らしさの表現	ユニバーサルデザイン	市民利用エリア (ウェルカムゾーンや多目的スペース等)
～明石らしく、すべての人にやさしい新庁舎に必要なものとは～		
その他、全体に関する事など		
防災・災害時の対応	環境・エネルギー	エリア全体の土地利用

意見交換

グループ皆さんと話をした中で、
「これは重要！」 と思った意見について

○印を付けましょう



新庁舎整備に関するワークショップ

～ みんなが利用したくなる新庁舎を考えよう ～

2023年7月15日（土）14：00～